

平成 24 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 23 年度実績と平成 24 年度計画)

【1枚目】

事業コード	61320001	
事務事業名	男女共同参画推進事業	
予算書の事業名	22.男女共同参画推進事業	
事業期間	開始年度	平成5年度
	終了年度	当面継続
	業務分類	6. ソフト事業
実施方法	<input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 <input type="radio"/> 2. アウトソーシング <input type="radio"/> 3. 負担金・補助金 <input checked="" type="radio"/> 4. 市直営	

部・課・係名等	コード1	01020200
部名等	企画総務部	
課名等	地域協働課	
係名等	協働推進係	
記入者氏名	米島 智晴	
電話番号	0765-23-1017	

政策体系上の位置付け	コード2	613002
政策の柱	基4 人と文化を育むまちづくり	
政策名	1 明日を担う人づくり	
施策名	3. 人権が尊重される社会の推進	
区分	なし	
基本事業名	男女共同参画の意識づくり	

予算科目	コード3	001020101
会計	一般会計	
款	2. 総務費	
項	1. 総務管理費	
目	1. 一般管理費	

◆事業概要 (どのような事業か。事業の内容、業務の手順など)				実績		計画・目標			
すべての男女が性別にかかわらず個人として尊重され、人間としてのすばらしさをお互いに認め合い、自立した個人としてそれぞれの個性や能力を十分に発揮できる社会を形成する				単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
対象	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など)	→	① 人口	人	45,176	44,812	44,966	44,728	44,490
	②								
	③								
手段	<平成23年度の主な活動内容> 推進員自身の研修、講演会の開催、班別活動の実施	→	① 男女共同参画推進員定例会等会合	回	11	12	12	12	12
	*平成24年度の変更点 地域での推進活動の展開		② 推進委員研修会	回	3	3	3	3	3
			③ 市民向けイベント	回	3	3	3	3	3
意図	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) 性別による固定的役割分担意識を解消し、男女共同参画社会の理解を深める	→	① 魚津市審議会等への女性の参加率	%	31.00	31.00	31.00	32.00	32.00
	② 男女共同参画社会が実現されていると感じる市民の割合		%	19.90	26.00	27.00	28.00	29.00	
	③								
その結果	<施策の目指すすがた> 家庭や職場などあらゆるところで男女共同参画が実現し、市民一人ひとりに男女共同参画の意識が浸透している		↑ 成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入						
◆この事務事業開始のきっかけ (何年頃)からどのようなきっかけで始まったか) 平成9年に魚津市男女協力プランが策定され、男女がともになってあらゆる場面で協力し合うための指針が示された				財源内訳	(千円)	0	0	0	0
				(千円)	0	0	0	0	
				(千円)	0	0	0	0	
				(千円)	694	672	768	768	768
				(千円)	694	672	768	768	768
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化 (法改正、規制緩和、社会情勢の変化など)				①事務事業に携わる正規職員数	(人)	3	2	2	2
平成16年4月に魚津市男女共同参画推進条例が施行となった 平成18年3月には、男女がお互いの人権を尊重し、女性への社会への貢献を支援しながら、あらゆる場面で新たな社会を築いていくため、魚津市男女共同参画プラン「YOU&愛2006」が策定された 平成22年3月には、10年を推進期間とする同プランの後期計画として、プランに上げた指標を見直した				②事務事業の年間所要時間	(時間)	1,480	1,000	1,000	1,000
				B. 人件費 (②×人件費単価/千円)	(千円)	6,223	4,205	4,205	4,205
				事務事業に係る総費用 (A+B)	(千円)	6,917	4,877	4,973	4,973
				(参考) 人件費単価	(円@時間)	4,205	4,205	4,205	4,205
◆市民や議会などからの要望・意見 (担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入) 市全域への推進イベントと並行して、市内各地域で男女共同参画意識を推進する活動を行う				◆県内他市の実施状況	(把握している内容又は把握していない理由の記入欄)				
				● 把握している	新川ブロックでの地域別研修会などでの情報交換や交流により、実施事業、抱える問題、取り組みの状況を把握している				
				○ 把握していない					

平成 24 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 23 年度実績と平成 24 年度計画)

【2枚目】

【目的妥当性の評価】

1. 施策への直結度 (事務事業の施策の目指すがたに対する直結度 (対象・意図の密接度) とその理由説明)	
<input checked="" type="radio"/> 直結度大 <input type="radio"/> 直結度中 <input type="radio"/> 直結度小	説明 市民一人ひとりの意識が大きく影響している
2. 市の関与の妥当性 (なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)	
<input checked="" type="radio"/> 法令などにより市による実施が義務付けられている <input type="radio"/> 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) ため、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小 (廃止) が妥当 <input type="radio"/> 既に目的を達成しているため、市の関与を廃止が妥当	
根拠法令等を記入	男女共同参画社会基本法 (平成11年法律第78号)
3. 目的見直しの余地 (【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)	
なし	説明 現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地はなし。

【有効性の評価】

4. 成果向上の余地 (成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか)	
あり	説明 市内各地区での推進活動を進める
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)	
あり	説明 公民館や民生委員等各地区の団体やイベントと連携することにより、推進員の負担を軽減し、よりきめの細かい推進が期待できる

【効率性の評価】

6. 事業費の削減の余地 (仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)	
なし	説明 推進員の活動費としては最小限である。
7. 人件費の削減の余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	
なし	説明 ボランティアとしての活動部分がほとんどであり、これ以上の人件費の削減の余地はなし。

【公平性の評価】

8. 受益機会の適正化の余地 (受益の機会が偏っていて不公平でないか)	
なし	説明 対象は市民全体であり、男女共同参画社会の構築と推進を目的とするため受益者負担になじまない。
9. 受益者負担の適正化の余地 (県内他市と比較し、適正な水準か)	
平均	説明 事業の性格から、受益者負担は設定していない。

★ 評価結果の総括と今後の方向性	
(1) 評価結果の総括	
① 目的妥当性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 目的廃止又は再設定の余地あり <input type="radio"/> 有効性 <input type="radio"/> 適切 <input checked="" type="radio"/> 成果向上の余地あり <input type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> コスト削減の余地あり <input type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 受益者負担の適正化の余地あり
(2) 今後の事務事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状のまま (又は計画どおり) 継続実施 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input checked="" type="radio"/> 他の事務事業と統合又は連携 <input type="radio"/> 目的見直し <input checked="" type="radio"/> 事務事業のやり方改善	年度 <input type="text"/>

★改革・改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)		コストと成果の方向性
実施予定時期	次年度 (平成24年度)	後期計画としてあげた指標の達成に鋭意取り組んでいく コストの方向性 維持
	中・長期的 (3～5年間)	平成28年度からの新プランの策定に向けて、市民の参加を得ながら意見を組み入れ、計画を作り直していく 成果の方向性 向上

★一次評価 (課長総括評価)		二次評価の要否
各地域の文化祭やまるまる魚津などの市のイベントにPRブース等をもうけ、地域での推進活動の展開を図る。また、魚津市男女共同参画プランの実現に向け、市各課にも指標の達成を働きかけることが必要である。		不要

★二次評価 (経営戦略会議評価)	